

南相馬市立総合病院 脳卒中センター



所在地：福島県南相馬市原町区高見町二丁目 54-6
 建築面積：2,777.66㎡
 延床面積：9,146.25㎡
 規模・構造：鉄骨＋鉄筋コンクリート造、地上5階建
 施工主：南相馬市
 設計：株式会社久米設計 東北支社
 施工：建築／佐藤工業・庄司建設工業 特定建設工事共同企業体
 電気／六興電気(株)
 竣工：2017年2月

福島県の南相馬市立総合病院では、地域の脳卒中罹患率の高さに対応するため脳卒中センターを増築しました。省エネ・低コスト化が図れる各種のLED器具を、センターの機能に応じて配置しています。

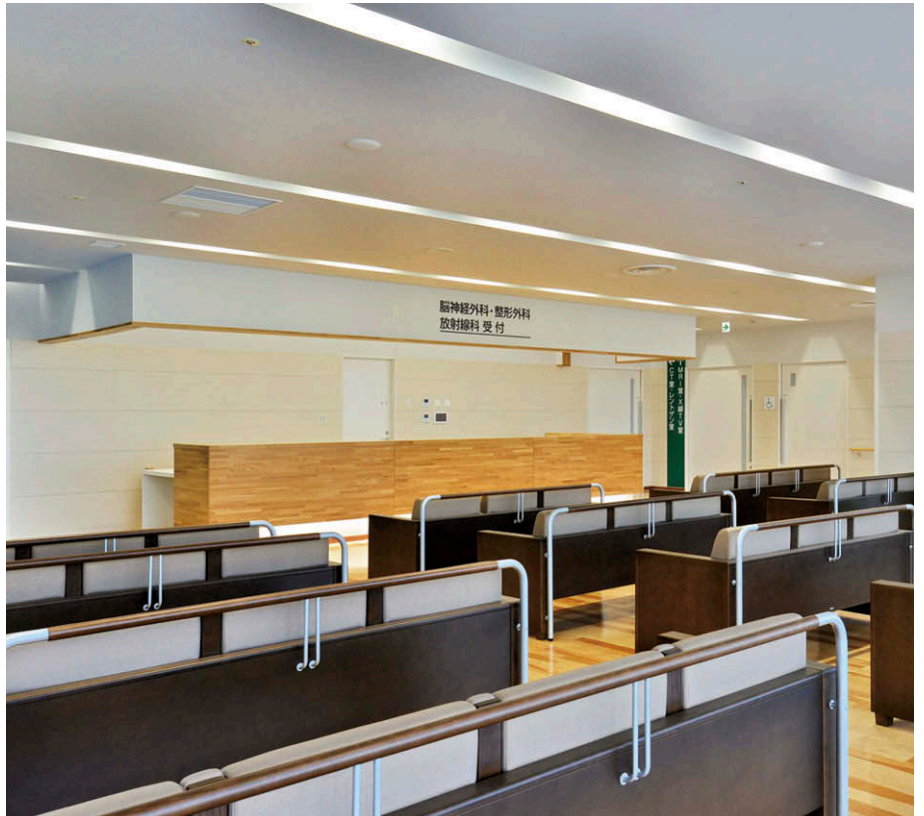
医療復興のシンボルとして今後、地域住民の健康福祉へ貢献

福島県東部に位置する相馬地域と双葉地域は、合わせて「相双地区」と呼ばれます。この相双地区は脳卒中の罹患率が全国平均より高く、専門の医療体制の整備が求められていました。また福島県内で医師が少ない地区でもあり救急医療面の課題も抱えていました。そこで相双医療圏の中核病院である南相馬市立総合病院は、地区の医療復興のシンボルとして脳卒中センターを増築しました。脳卒中の診療、予防ならびに救急医療体制の確立により、今後地域住民の健康福祉に寄与するものとして期待されています。

センター内の機能、設備に各種LED器具の特徴を合わせて配置

脳卒中センターは地上5階建てで1階と2階は救急外来ならびに外来、リハビリテーション室などを設け、3階と4階は病室を設けています。照明はLED器具を採用し、LED一体形ダウンライト2000シリーズ、LEDライトエンジンダウンライトを主に廊下、そして多目的ホールや外来受付の一部に使用し、シャープな明るさとともに温もりのある照明環境にしています。診察室前の廊下に配置した5000KのLEDベースライト一体形スクエア器具は、3、4階のロビーや応接室などにも使用し、乳白カバーによって照度を確保しながらまぶしさを抑えた快適さを演出しています。

診察室、リハビリテーション室、多目的ホール、会議室などにはTENQOOシリーズ埋込形が採用され、用途によってパツフル、乳白カバー、アルミルーバーをシステムアップして配置しています。3階と4階の廊下の間接照明は調光調色タイプのTENQOOシリーズ直付形を採用。調光25～100%、調色2700K～5000Kの範囲で、時間に合わせた安らぎの照明を実現しています。また病室にはLEDホスピタルブラケットとLEDダウンライトの採用で、温かみのある落ち着いた空間づくりをしています。



待合スペースにTENQOOシリーズとLED一体形ダウンライト、窓口デクス上にライン器具を組み合わせた1階外来受付の照明



外来診察室



LEDベースライト一体形スクエア器具による1階の小児科診察室の廊下の照明



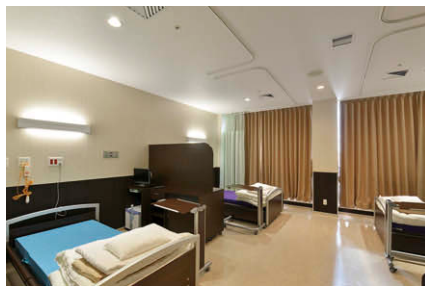
2階のリハビリテーション室の照明



集中治療室の照明



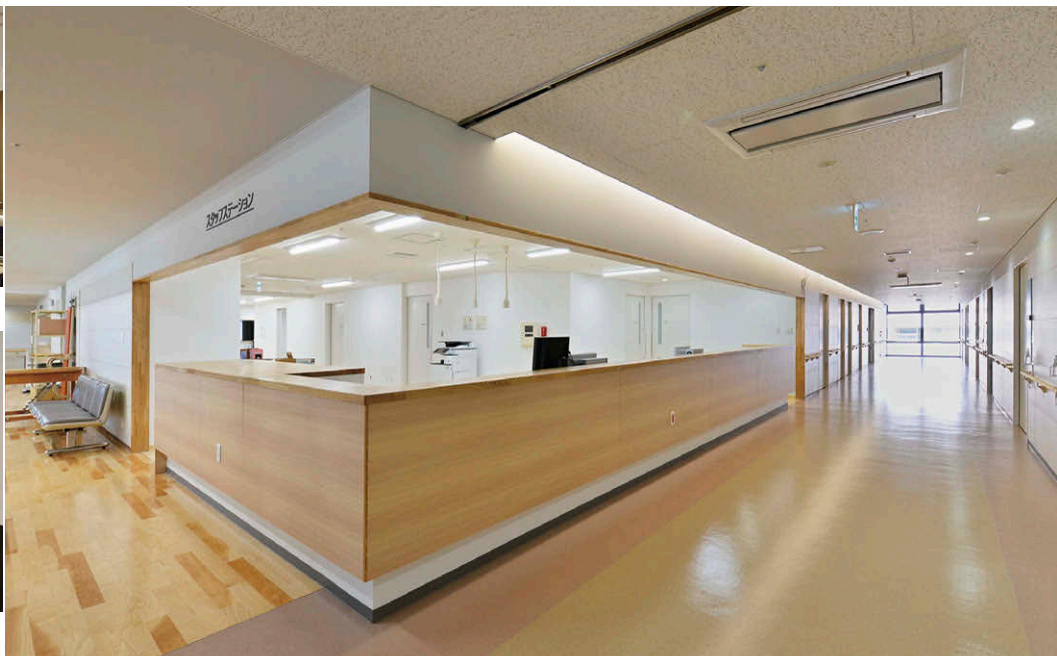
救急患者の処置室にはTENQOOシリーズHACCP・クリーンルーム兼用形器具を採用



4床病室のLED照明



1床病室のLED照明



3階のスタッフステーションから病室へ続く廊下の照明 壁面にはTENQOOシリーズ調光調色タイプ間接照明を採用



4階食堂のLED照明

主な納入機器一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
センター内	LEDホスピタルプラケット	LEDB-30902PW-LD1	96	LED 消費電力：37.0W
	LED処置灯ユニバーサルダウンライト	LEDD-09313W-LD9	100	LED 消費電力：19.1W
	LED一体形ダウンライト2000シリーズ	LEDD-21011FN-LS9	659	LED 消費電力：18.2W
	TENQOOシリーズ埋込形システムアップ	LEKR416692-LS9・LD-9	216	LED 消費電力：47.5W
	TENQOOシリーズ直付40形W70調光調色	LEKT407691C-LC9	149	LED 消費電力：48.0W
	TENQOOシリーズ埋込40形W150	LEKR415692N-LS9	130	LED 消費電力：47.5W
	TENQOOシリーズ直付40形W230	LEKT423691N-LS9	107	LED 消費電力：39.0W
	LED屋内用ライン器具	LEDL-12501N-LD9	98	LED 消費電力：29.0W
	LEDライトエンジンダウンライト人感センサー内蔵	LEDD-16001MY-LD9	87	LED 消費電力：14.1W